

## 第4回上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 会議録

【日 時】 令和元年11月14日（水）9：30～12：00

【出席者】 委員 8名  
担当課  
（まちづくり創生課） 3名  
（こども支援課） 5名

【欠席者】 委員 6名

【傍聴人】 0名

【事務局】 5名

### 1. 開会

- ・配付資料確認
- ・委員長あいさつ

### 2. 議題

(1) 上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

【空き家バンク登録物件の説明会の開催】、【登録物件の測量及び活用事例の紹介】、【貸主と借主との仲介】

担当課：＜空き家バンク登録物件の説明会の開催＞

牧浦委員：これらは全て未実施となっている。早くから取り組んでいるにも関わらず、日程も出ていない。討論するようなレベルではない。空き家関連は4年経っていると思う。それが未だにこういう状況でしか出ていない。今後の方針にしても全て創設していきたいと考えているというような文言となっている。説明云々よりもいつから実施するのかを示してほしい。

担当課：令和元年度から空き家バンクの運営を開始しており、物件登録を進めているところ。

牧浦委員：できれば30年度で創設するところまでしてほしい。今後の方針でも空き家登録掲載物件の問合せがあった場合に、利活用の連携体制の中で個別に説明できるような仕組みを「創設していきたいと考えています」という表現になっているが、「創設します」と言い切してほしい。これからずっと未実施のものに対して、30年度は全部未実施という報告を受けてもどうかと思う。30年度の検証では、30年度ではこういうことをしました、31年度はいつから何を実施するのかを今後の取組方針に書いていただきたい。31年度取組予定としては考えていないということではなく、取り組みますという記載にしてほしい。

委員長：この3つは未実施ですが、削除したりまとめたりするというのもありそうなの

で、この3つを簡単に説明してもらって、今後の方向性を含めて議論したいと思う。

担当課 : <登録物件の測量及び活用事例の紹介、貸主と借主との仲介について説明>

副委員長 : 上牧町は不動産会社と連携協定を結んでいると思うが、いつだったか。

担当課 : 今年の7月。

副委員長 : 31年度の連携協定に向けてなにか取組みをしていると思うので、その内容を評価シートに記載してもよいと思う。例えば、何回協議したかなど。事業の評価をするのに、協定を結ぶためにどういう取組みを進めていたのかを記載してほしい。

牧浦委員 : 私はさっき言ったように期限をつけてやってもらえるかどうか。

東谷委員 : 空き家の総数は把握しているか。

担当課 : およそ230軒。

東谷委員 : 人口の減少に伴って、空き家の問題というのは全国的に課題になっていると思うが、個人的な意見として、新たに転入してきた方に空き家を提供した場合、地域の慣習やしきたりなどがあり、なかなか馴染めないところがあるのではないかと思うので、空き家は新たに転入してくる方には合わないような気がしている。上牧町の空き家の総数も230軒ぐらいなので、考える必要がないのではないかと考えたりもするが、どうか。

担当課 : 現状は230軒だが、人口減少に伴って確実に増えていく見込みがあり、住民から空き家をどうにかしてほしいという声もある。何か取組みが必要であると考えている。

牧浦委員 : 何年前に民家を貸してほしいという声があったが、上牧町の体制が整っていなかったのも、それができなかった。福祉法人や海外から働きに来る人に寮として提供してもらえないかという話があったが、この事業が立ち上がってなければ進まない。早く進めてもらうことで、空き家利活用の先駆者になれたと思う。期限を決めてやってもらいたいのはそういうこと。受け入れ体制が整っていれば、転入者に空き家に住んでもらうのは抵抗がある場合もあるが、福祉法人などが寮で使うのであれば、利活用は可能だと思う。

西山委員 : 今後の取組方針の中にこれらの取り組みも含めて考えを記載してほしい。空き家バンクにとらわれずに、空き家の利活用に取り組んでほしい。総合戦略の改定に伴う意向調査として空き家利活用の推進という形でまとめているので、空き家バンクだけでなく、多方面で取組みについて考えてほしい。評価シートについても牧浦委員が言ったように検討していきたいという表現ではなく、やってきたこと、これからやっていくことを整理して記載してもらいたい。

委員長 : 34、35、36の今後の方向性のところで指摘が色々あったので、具体的に書けるところは記載して、ただ35の今後の方向性のところで事業実施の目途がたっていないとなっているので、事務局と相談して内容について検討してほしい。

【上牧町魅力発信ツアー】

担当課 : <上牧町魅力発信ツアーについて説明>

副委員長 : この事業はもともとまちづくり創生課で所管していた事業だったか。

担当課 : 広域連携というような部分で政策調整課の方で企画した内容が28年度の事業で、その後引き継ぐような形でまちづくり創生課の方で事業を計画していく形になっている。ただ、広域連携を行って事業を追加で展開していくことが難しい状況だったので30年度では未実施になっている。

副委員長 : 今後どういうふうに町のPRをしていくのか、方針について教えてほしい。

担当課 : 今後は滝川や片岡城跡、久渡古墳群の整備でさきゆり回廊という新たな観光名所にもなるようなものとして整備しているので、これらの観光資源を生かして企画していきたいと考えている。

担当課 : 補足になるが、現在、補助金を活用して、滝川周辺整備で芝桜の植栽や片岡城跡付近への桜の植栽を進めており上牧町の魅力作りに力を入れているところ。

副委員長 : 未実施となっているが、課が変わったことで方針が変わったというような印象を受けたので、その部分を強調して記載してはどうか。現状の評価シートだけを見ると滝川整備や久渡古墳群の整備が終わってから取り組むような内容となっているので、それ以外の部分で31年度の取組みに向けて検討している部分があれば、内容に追加したほうが良いと思う。

牧浦委員 : 当初はすむ・奈良・ほっかつの取組みとして移住定住施策を展開しており、上牧町の魅力を外部に発信をして住んでもらうという目的だったが、こういうものは、引き継がれるとなくなるのか。

担当課 : 定住施策については、今年度もプロジェクトチームを設けて取組みを行ったりもしている。まちづくり創生課としても定住施策を引き継がないというわけではなく、所管している分野の観光からのアプローチで上牧町の魅力を発信していこうと考えてる。

牧浦委員 : すむ・奈良・ほっかつの取組みはなくなったのか。

事務局 : 現在政策調整課で担当している。すむ・奈良・ほっかつ！は4町で連携して取り組んでおり、単独では取り組みにくい分野のものなどについて、4町で行うことで、費用的な面であったり、4町で行うことがよいと考えられる部分について取組みが始まった。当初は空き家についても4町で連携できないかという話もあったが、事業を進めていく中で各町での取組みとして進めることになった。すむ・奈良・ほっかつ！は今年度においても実施している。総合戦略の中にもすむ・奈良・ほっかつの事業が計上されており、検証していただいている部分もあるので、今後継続していくかも含めて、今後検討していく。すむ・奈良・ほっかつ！とまちづくり創生課の観光からのアプローチのPRは別の取組みとして進めている。

牧浦委員：魅力発信ツアーは移住定住で、次の広域連携による観光プログラムの企画・周知運営のところで観光としてはどうか。

西山委員：単に観光の企画というよりは、新たに取り組むところを少し工夫してやってもらいたい。また、まちづくり創生課が主管ということだが、庁内で連携しているのであれば、関連部局に記載すればよいと思う。

#### 【広域連携による観光プログラムの企画・周知・運営】

担当課：＜広域連携による観光プログラムの企画・周知・運営について説明＞

副委員長：他の自治体ではPRについては観光協会や商工会が実施していることが多いが、上牧町の場合、観光協会がないので、職員だけでなくいろんな人を巻き込んだ協議体・組織を作っていくことの検討が必要ではないか、中長期的な視点で。

委員長：41のところでほっかつ4町のプロモーションツアーを実施したとあるが、タイトルを見ると48のような気もする。41も48も広域連携である観光プログラムの内容だったか。

牧浦委員：当初、すむ・奈良・ほっかつ！は定住の施策だった。それが今聞くと観光のイメージになっている。定住促進事業はどこに入るのか。観光は41、48でよいと思うが。定住促進の色が薄くなって、観光の色が濃くなっている。これはどうなのかと思う。

西山委員：41番は、観光だけを捉えており、町のこれまでの史跡、寺院等々について、魅力を再認識をしようという形で、芝桜植栽、久渡古墳群の整備、片岡城跡の整備を行っていき、その中で町の周遊ルートを作って、住民の方々に上牧町を再発見してもらおう。また、滝川整備を行うことによって、その周遊ルートで健康作りにも励んでもらう。その中で、町内の方々にも魅力を再認識してもらおうとともに、ウォーキングなり、広域連携も見据えて企画をしてもらい、町外の方にも上牧町の魅力を発信して、定住に向けて進んでいきたいというような感じだと思う。上牧町魅力発信ツアーの実施が観光プログラムの企画・周知・運営という表題になっているので、今、牧浦委員が言った形で少し表題も検討し、町が今どう考えているのか、どういうことをするのか、どういうものを発信していくのか、その辺を十分考えていただいて、統一するのであれば、この部分をもう一度検討してほしい。

委員長：意向確認調書では41に統合となっているが、観光を中心とするなら、48に統合のほうが観光の取組みとしてはあっているのではないか。41を残すのであれば、転入促進との関係を整理して、どういうに位置づけにするかも含めて検討してほしい。

担当課：指摘事項について、再検討する。

美馬委員：何年か前に滝川周辺整備（東屋、足湯等）の計画があったと思うが、事業が進

んでいるのか。

杉浦部長：足湯については、見直しとなっているが計画そのものは進んでいる。

美馬委員：久渡古墳の勉強をさせていただいて、出席させていただいているが、上牧町は PR が下手だと思う。勉強していると、実際に現場へ行ったり楽しいが、その辺の魅力について PR できていない。広報には載っているが住民に届いていない。今後 PR の仕方について考えてほしい。

事務局：以前から上牧町は PR が下手だという意見もいただいているので、Facebook やホームページ等活用しながら積極的に PR していきたいと考えている。

委員長：この 2 件について、政策上の位置づけも含めて検討してほしい。統合や削除の仕方について検討してほしい。

#### 【滝川整備事業】

担当課：＜滝川整備事業について説明＞

委員長：新しい KPI を設定しているが、これについて説明してほしい。

担当課：現状では KPI がパンフレットの発行冊数となっており、この事業の直接的な KPI ではなかったため、新たに住民の満足度として KPI を設定した。これは国の補助事業で社会資本整備計画を作成しており、その中でも目標値として、これを使っている。

委員長：KPI をどうやって把握するのか。毎年アンケート調査を実施するのか。記載する以上満足度を図る必要が生じる。毎年アンケート調査を実施するのであればよいが、もしそうでなければ、再検討した方がよいと思う。

担当課：毎年実施するのが難しいようであれば、別の内容に変更する。再検討する。

委員長：整備率、整備状況でも良いかもしれない。

#### 【近隣自治体との空き家バンク共同運営】、【空き家への事業者入居及び町民雇用の促進】、【町内事業所勤務者の入居促進】

担当課：＜近隣自治体との空き家バンク共同運営、空き家への事業者入居及び町民雇用の促進、町内事業所勤務者の入居促進について説明＞

服部委員：評価シートの今後の方向性について、取組みの方向性や投入資源の方向性にチェックがないのはなぜか。

副委員長：会議で話をする段階ではないように思う。評価をする側にとって情報が少ない。持ち帰ってもう一度提出していただく形になると思う。

牧浦委員：全国版空き家バンクに掲載して終わりということではなく、町としてもどう取り組んでいくのか記載してほしい。

担当課：訂正し、再度提出する。

委員長：空き家についてはかなり議論があり、統合・削除も多いので、全国版空き家バンクへの登録だけでいいのか、空き家への取組み、力の入れ方について再度検

討が必要だと思う。

東谷委員：上牧町の特異性を考えた取組みを進めてほしい。小さくて過密な自治体（特異性）。上牧町は住めるところがほとんどない。世帯数は減っていない。世帯を構成してる人数が減っている。単身世帯が多くなっている。新しい転入者への受け皿がない。都市計画をしっかりと見直して行ってほしい。まちづくり創生課だけでなく特異性をしっかりと把握した上で政策展開してほしい。

委員長：今度の進め方は、事務局と相談してほしい。

#### 【情報交換拠点の整備】

担当課：＜情報交換拠点の整備について説明＞

牧浦委員：おひさま広場、つどいの広場は人数に制限はあるか。何年前につどいの広場に参加したいが参加できなかったという声があった。人数に制限があるのであれば、KPIの目標値8,000人は達成できるのか。KPIをどういう考え方で設定しているのか説明してほしい。

担当課：場所によって制限はかかる場合があるが、現在は参加人数が減少傾向であるので、参加できないということはほとんどない。減ってる状況なのでどうにかして増やしていきたいと考えてる。KPIについては、かなり高い目標値となっており、8,000人の達成は難しいのではないかと考えている。

牧浦委員：地域サロンも閉鎖になったので、KPIは変更をしたほうが良いと思う。

副委員長：新しいKPIが利用者の延べ人数で4,000人から毎年200人ずつ増えていく設定になっているが、どういう根拠で設定しているのか。

担当課：実情に合わせるような形で基準値を4,000人、これから増やしていくという目標で設定している。

西山委員：KPIでは200人ずつ増やすような設定となっているが、具体的に人数を増やすための取組みは考えているのか。例えば回数や土日開催など。具体的に回数を何回増やすので、何人増える見込みというのが試算の根拠になると思うので、その辺りをもう少し具体的に説明してほしい。

担当課：知らない方も多いと思うので、まず周知に力を入れていきたい。

西山委員：もう少し踏み込んで分析した上で、4,000人を維持していくのか、増やしていくのかということを再検討していただきたい。

副委員長：広報をするのであれば、予算が必要となる場合もあると思うので、予算についても見直しが必要だと思う。

担当課：費用がかかる広報をする場合には、予算を確保していく。費用がかからない広報の仕方も色々あるので、順次取り組んでいく。

委員長：KPIが増えるというのであれば、根拠や内容をイメージしながら取組方針に記載すればよいと思う。

委員長：評価はCでよいか。人数が達成していないということでCになっていると思

う。

服部委員：この事業は数字が目的ではなくて、こういう情報交換の広場があることに意義がある、子育て支援につながると思うので、KPIについても再度検討してもよいと思う。広報については、リーフレット等を作成してもよいと思うが、広報等でこまめに発信した方がよいと思う。

担当課：以前の外部検証委員会の時に、中間報告として最終目標 8,000 人は難しいのではないかと報告させていただいたが、最終目標であるので、とりあえずそのまま残しておいてほしいという指摘があった。それから、周知について、広報等で今までも発信しているが、情報が届いていても足を運んでもらえない場合もあると思うので、その辺について検討が必要と考えている。子ども子育て支援計画を策定させていただいた中で、アンケート調査を実施した。その中で今後この広場を利用したいと答えた方が 44%だったので、認知しているが利用していない人について、どういうアプローチをすれば来ていただけるのかを考えなおしていきたい。

委員長：今後の方向性でもう少し記載できる部分があると思う。評価についても、単純に KPI だけ見ると目標は達成できていないが、情報交換の広場があるということに意義があるという意見もあったので、評価については、課内で再度検討してもよいと思う。

#### 【地域における保育環境の改善事業】

担当課：＜地域における保育環境の改善事業について説明＞

副委員長：KPI を預かり保育利用のべ人数として新設しており目標値として増加するように設定されているが、増加するような取組みはどのようなものを想定しているのか。現状維持でも良いように思うが。

担当課：ストレスの軽減ということで、預かり保育を利用することも可能であり、目標値は少し高めを設定している。

委員長：上牧町の預かり保育は 3 歳児からか。

担当課：そのとおり。

委員長：10 月から幼児教育の無償化になっているが、預かり保育を利用している子どもで 2 号認定の子どもはどれぐらいか。

担当課：3 名が 2 号認定で利用している。それ以外は 1 号認定で利用している。

委員長：1 号認定で預かり保育を利用される場合は従来どおりで良いと思うが、今回の無償化との関係でいうと、実質的には 2 号認定だけれど、幼稚園に預けて就労したい方の場合、今回の幼児教育無償化を受けて町として預かり保育をどう位置付けていくのか、女性の就労支援という形で預かり保育を続けていくのであれば、預かり保育の時間をどうするか、夏休みの開設をどうしていくのかなどが関係してくる。預かり保育を就労支援的な位置づけにするのであれば、預か

り保育の子どもが増えていく目標でも良いと思う。従来の位置づけで継続するのであれば、利用が増えるというのは考えにくい。預かり保育の位置づけによって変わる。

担当課：時間の延長といった形だと予算も関係してくるので、その辺は考えて取り組んでいかなければならないと思っている。

委員長：就労支援も付加していくかの判断を直ちにすることはできないと思うが、なんらかの整理が必要になってくると思う。

担当課：時間の延長についてはすぐに決められる案件ではないと考えている。

西山委員：11番と23番では幼稚園、保育所に特化した形になっている。働く保護者の支援という形であれば、学童保育の時間についても夏休みや預かる時間帯をどうするのかという経緯があったかと思うので、上牧町が幼稚園や保育所だけに特化したというのではなく、町は働きやすい環境にする等で今こういう形でやっているというようなまとめ方をして、その施設ごとではなく、統一した考え方で色々な施策を考えているという形で次のものにまとめ直してもらえばいいと思う。

委員長：子どもが減っている中でKPIが増えているので、KPIが増えている根拠について、考えておいてほしい。

服部委員：幼児教育の無償化が始まるが、預かり保育についても無償化になるのか。

担当課：保育の必要性があると認定された方のみが、条件はあるが、預かり保育も無償になる。今までの1号認定で幼稚園に行っている方は費用が発生する。

#### 【婚活イベントの企画・実施】、【結婚希望者相談窓口の設置】

担当課：＜婚活イベントの企画・実施、結婚希望者相談窓口の設置について説明＞

牧浦委員：達成度で町内の参加者が少ない。町の事業で町民が少ないのはどうか、周知の方法について検討が必要だと思うがどうか。また、育成にかかる費用はもう必要ないのではないか。マリッジサポーターは1期生の方がだいぶ育てており、講習の必要はないと思う。この辺のことを事業見直しの余地に記載したほうがよいと思うがどうか。

担当課：町内の方が参加できる周知の方法について考えていきたい。ただ、町外から参加していただくことで上牧町を知ってもらうきっかけになり、この事業をきっかけに転入してもらえる可能性もあるので町内、町外に広く周知していくつもり。マリッジサポーターの育成の費用の指摘について、新しいマリッジサポーターの養成についてはしばらく育成の費用は必要であると考えている。マリッジサポーター1期生・2期生が今後の養成講座の講師ができるようになれば委託の費用も必要なくなるので、今後も引き続き養成を進める。

牧浦委員：それを事業の見直し余地または町関与の必要性に記載してはどうかということ。また、町内で参加すると恥ずかしいというような声もあるので、周知の方

法について検討してほしいと思う。

担当課 : アンケートの回答を見ると、出会いの場所がないという回答が多いことから、町で出会いのきっかけを作ろうという事で事業が始まった。町民の参加率が低いとあり、なぜ町内の方が参加しにくいのかと考えたときに、町内だと恥ずかしいということも妨げになっていると思う。そこで、結婚相談窓口を設け、登録制として、お見合いのような形で個別支援の検討を進めているところ。

牧浦委員 : イベントと相談窓口の両方で取り組んでいくという認識でよろしいか。

担当課 : そのとおり。

#### 【ワンストップ相談窓口の設置】

担当課 : <ワンストップ相談窓口の設置について説明>

牧浦委員 : 令和2年度からは子育て世代包括支援センターがこの業務を担っていくという認識でよいか。

担当課 : そのとおり。

#### 【通勤時間のかかる世帯の延長保育料金の支援】

担当課 : <通勤時間のかかる世帯の延長保育料金の支援について説明>

委員長 : 延長保育料金の支援とはどういう内容なのか？

担当課 : 民間の保育所の延長保育にかかる費用に対する助成となっている。

委員長 : 延長保育料を無料にしているということか。

担当課 : 保育所が延長保育をするために要する費用についての助成であり、保護者の自己負担額が無料になるという内容ではない。

委員長 : 延長保育料金の支援という名称だと、保護者に対する支援に捉えられる。

担当課 : 名称については再検討する。

西山委員 : 11 と 23 と 29 の内容については、取組内容の表題と実施内容がずれているように思うので、総合戦略改定時には内容を整理してほしい。

委員長 : 子育てと就労の両立については重要な問題だと思う。町でもいくつかのメニューを考えていると思うので、全体像が分かって個々の内容がイメージできるような形で整理してほしい。

#### 【病児病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減】

担当課 : <病児病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減について説明>

副委員長 : KPI で利用者を増加させていることについて説明してほしい。

担当課 : 西和地域で保育室を新設することに伴って、利用者が増加していく形になっている。

副委員長 : そういう見通しはわかるが、病児病後児保育を利用したいという声はあるが利用できないという声があって新設を行ったということか。

担当課：当初、大和高田市で病児病後児保育所を開設していたが、上牧町の利用者が少なく、もともと上牧町は大阪のベッドタウンということもあり、統計からも上牧町から北側へ出勤する方が多いという結果が出ている。アンケート調査でも病児病後児保育所が遠方で利便性が悪いという声があったので、就労支援の一つとして、利便性を考えて選択肢を増やすということで新設するというのが主旨である。

副委員長：利便性を考えて選択肢を増やすという意味で新設するのであれば、KPIとして利用者を増加させるような設定は馴染まないのではないかな。

西山委員：KPIとしては利用者ではなく、登録者数のほうが適当ではないかな。検討してほしい。

担当課：指摘のとおり検討する。

#### 【子育て支援セミナーの開催】

担当課：＜子育て支援セミナーの開催について説明＞

●外部検証未実施（次回検証）

#### 【乳幼児教育の充実】

担当課：＜乳幼児教育の充実について説明＞

●外部検証未実施（次回検証）

#### 【ファミリー・サポートセンターの実施】

担当課：＜ファミリー・サポートセンターの実施について説明＞

●外部検証未実施（次回検証）

#### 【放課後児童クラブの充実】

担当課：＜放課後児童クラブの充実について説明＞

●外部検証未実施（次回検証）

### 3. その他

会議については決められた時間内で終わるようにしてほしい。

まちづくり創生課の空き家についての取組みとこども支援課で時間内に検証できなかった取組みについては次回行う。

### 4. 閉会

以上